

■取扱説明書

Guitar Amplifier Head

G100Ⅲ

Bass Amplifier Head

B100Ⅲ

Speaker Enclosure

S115Ⅲ/S215Ⅲ/S412Ⅲ

●ごあいさつ

このたびは、YAMAHAセパレートタイプ・ギター・アンプ・システムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
すぐれた性能を充分に発揮させるとともに、長年支障なくお使いいただくため、この取扱説明書をぜひお読みくださいますようお願いいたします。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーングループのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

音楽を楽しむチケット

●目次

Guitar Amplifier Head G100 III

特長	3
ご注意	3
仕様	3
コントロールパネル	4
リアパネル	6
ブロックダイアグラム	7
接続例	7

Bass Amplifier Head B100 III

特長	8
ご注意	8
仕様	8
コントロールパネル	9
リアパネル	11
接続例	12
ブロックダイアグラム	12

Speaker Enclosure S115 III/S215 III/S412 III

ご注意	13
仕様	13
接続	14
サービスのご依頼について	15

G100III Guitar Amplifier Head

●特長

- プレーヤーの要求するサウンドを忠実に、100Wrmsのハイパワーで表現することができます。
- A・B 2系統の入力部を持ち、切り替えて使用することができます。A系列はノーマルでクリアーノサウンド、B系列はGAIN、MASTER VOLUMEの組み合わせにより、小音量でもワイルドなディストーション(オーバードライブ)サウンドが得られます。
- 音色のコントロールにはTREBLE・MIDDLE・BASS、さらに、PRESENCEを独立してコントロールできるほか、中音域を強調するPULL-MID BOOSTなど、豊富な機能を装備しています。
- パラメトリックイコライザーの採用により、きめの細かいサウンド創りを可能にします。
- 付属のフットスイッチにより、演奏中でも入力系A/Bの切り替えやパラメトリックイコライザーのON/OFF、エフェクトループのON/OFFがワンタッチです。
- SEND OUTPUTやDIRECT OUTなど、様々なサウンド創りを可能にする入出力端子が豊富です。

●ご注意

- 本機の電源電圧は国内仕様AC100V、50/60Hzです。
- 電源投入時やギターの接続時には、スピーカーの損傷を避けるため、VOLUMEおよびMASTER VOLUMEを絞ってください。
- 雑音の原因となるネオンや螢光灯からは、充分に離してご使用ください。
- ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご使用ください。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。また使用中の移動は避けてください。
- 湿気、結露、ほこりに充分注意して、安定した場所に設置してください。また、高温となる場所での使用を避けてください。
- パネルをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することを避けてください。(変色等の原因となります。)お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきしてください。
- リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。

●仕様

定格出力	100W (4Ω、THD10%)
入力感度／インピーダンス	
INPUT	-20dB (77.5mV/1MΩ)
RETURN INPUT	-10dB (245mV/20kΩ)
出力レベル	
SPEAKER OUT (8Ω)	+31.2dB (28.1V)
SPEAKER OUT (4Ω)	+28.2dB (19.9V)
BAL. OUTPUT (600Ω)	+4dB (1.23V)
SEND OUTPUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
DIRECT OUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
PHONES (8Ω)	-11dB (218mV)
ゲイン	
A入力 (INPUT→SPEAKER OUT)	70dB
B入力 (INPUT→SPEAKER OUT)	88dB
A入力 (INPUT→SEND OUTPUT)	33dB
A入力 (INPUT→BAL. OUTPUT)	58dB
RETURN INPUT→SPEAKER OUT	47dB
ノイズ*	
A入力 (all volumes→min.)	-52dB
B入力 (all volumes→min.)	-52dB
A入力 (VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS→max.)	-42dB
B入力 (GAIN, MASTER VOL, TREBLE, MIDDLE, BASS→max.)	-24dB
パラメトリックイコライザー	
LEVEL	±15dB
Q	0.35~3.0
FREQUENCY	100Hz~5kHz
リバーブ	スプリング
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	90W
最大外形寸法 (W×H×D)	541×248×307mm
重量	16.0kg
付属品	フットスイッチ、ビニールカバー

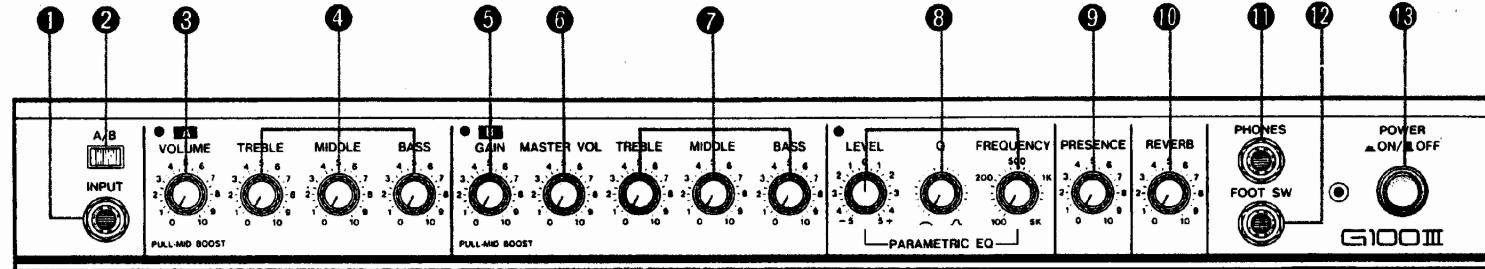
* @12.7kHz、6dB/oct. フィルターで補正。

● 0 dB = 0.775Vr.m.s.

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

G100III

●コントロールパネル



① INPUT

エレキギターを接続します。

② A/B SELECT SW

本機にはA・B 2つの入力系があり、このスイッチでどちらの系列を使用するのかを決めます。

A系列はノンディストーションサウンド、B系列はディストーションサウンドが得られます。選択した入力系のインジケーターが点灯します。また切り替えはフットスイッチでも行なうことができます。このときはこのスイッチは働きません。

③ VOLUME/PULL-MID BOOST

A系列を選択したとき、このツマミで音量をコントロールします。

ツマミを手前に引くと中域がブースト（低域のレベルを若干押さえ、200Hz～3kHzのレベルを上げる）され、中域を強調した腰のある重厚なサウンドになります。

④ A系列 TREBLE, MIDDLE, BASS

A系列を選択したとき、それぞれのツマミで、高域（7kHz基準）、中域（300Hz中心）、低域（70Hz基準）の各レベルをコントロールします。ツマミ位置センター“5”がノーマル、時計方向“10”に回すほどブースト、反時計方向“0”に回すほどカット効果が得られます。

*TREBLE, MIDDLE, BASS のツマミ全てが、“0”的状態では音は出ません。

⑤ GAIN/PULL-MID BOOST

B系列のプリアンプボリュームです。

ツマミを時計方向に回すほどゲイン（增幅利得）が上り、ディストーションのかかり方もハードになります。

音量はこのツマミでゲインを調整した後、MASTER VOLツマミにて調整してください。またA系列同様、中域のブーストスイッチ付きます。

⑥ MASTER VOLUME

B系列のマスター ボリュームです。

GAINにより調整されたディストーションの状態、および音色をほとんど変えずに音量のみをコントロールします。

⑦ B系列 TREBLE、MIDDLE、BASS

B系列を選択したとき、それぞれのツマミで、高域、中域、低域の各レベルをコントロールします。

*TREBLE、MIDDLE、BASS のツマミ全てが、“0”の状態では音は出ません。

⑧ PARAMETRIC EQUALIZER LEVEL

FREQUENCYツマミで設定したイコライジングポイントを中心に、最大±15dBの範囲でブーストまたはカットします。

ツマミ位置センター“0”では、Qおよび、FREQUENCYツマミのセッティング状態に関係なく、フラットな特性となり効果は表われません。ツマミを時計方向“+”に回すほどピーピング効果が強くなり、反時計方向に回すほどディッピング効果が強くなります。

Q

イコライジングする周波数帯を広くとるか狭くとるかを決めるツマミです。
時計方向“八”に回すほどイコライジングする音域が狭くなり、反時計方向“一”に回すほど音域が広くなります。

FREQUENCY

イコライジングする周波数の中心を決めるツマミです。

イコライジングポイントは、100Hz～5kHzの間で連続的に設定できます。

*パラメトリックイコライザーのON/OFFを、フットスイッチにてリモート操作できます。
スイッチONでLEVELツマミ左上のインジケーターが点灯、スイッチOFFで消灯します。

⑨ PRESENCE

TREBLEツマミで調整される周波数帯よりも、さらに高い周波数帯=超高音域(2kHz～5kHz付近)をコントロールするツマミです。

ツマミの位置が“0”的き効果はなく、時計方向“10”に回すほどこの帯域がブーストされ、メリハリのあるサウンドになります。

⑩ REVERB

残響効果の強さをコントロールするツマミです。

ツマミの位置が“0”的き効果はなく、時計方向“10”に回すほど残響効果が強くなり、ライブな音になります。

⑪ PHONES

ローインピーダンスタイプのヘッドホンをご使用ください。

なお、ヘッドホンを接続しても、接続したスピーカーから音が出ます。

スピーカーの音を切りたいときは、リアパネルのSPEAKER端子に接続したスピーカーのプラグを抜いてください。

⑫ FOOT SW

付属のフットスイッチを接続します。
フットスイッチを使用すると、演奏をしながら足もとでA/B系列の切り替え、パラメトリックイコライザーのON/OFF、エフェクトループのON/OFFができます。

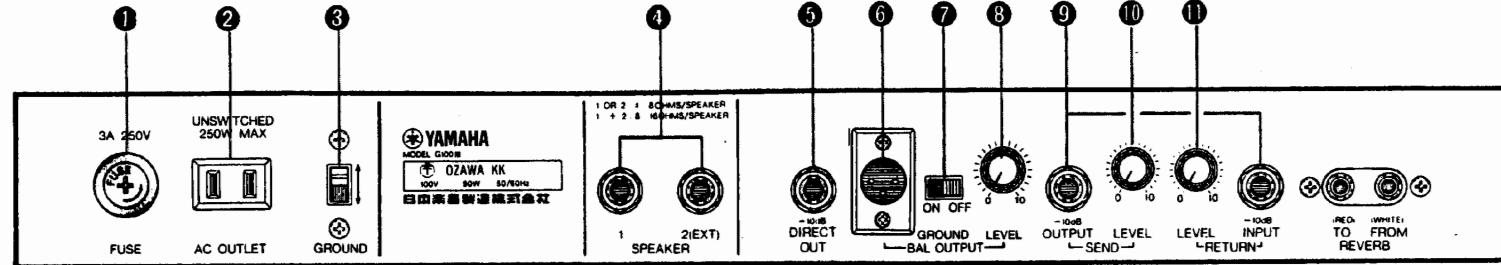
*フットスイッチは必ず付属品をご使用ください。他のフットスイッチをご使用になりますと、故障の原因となります。充分ご注意ください。

⑬ POWER SW

電源スイッチです。

G100III

● リアパネル



① FUSE

ヒューズ交換の際には電源プラグをコンセントから引き抜いた後、当社規定のものと交換してください。

なおご使用中におけるヒューズの断線は、ご使用上のミスのほか故障などの原因によるものであります。お買い上げ店もしくは最寄りのサービスステーションにご相談ください。

② AC OUTLET(UNSWITCHED)

非連動型コンセントです。消費電力 250W以下の機器に使用できます。

③ GROUND SW

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。ハム・雑音が大きい場合、このスイッチを切り替えれば、これらが軽減することができます。

④ SPEAKER 1・2

SPEAKER端子1と2は内部で並列に接続されており、2台以上のスピーカーを接続可能です。

SPEAKER 1または2のどちらか片方を使用する場合には4~8Ωのスピーカー、

SPEAKER 1と2の両方を使用する場合には、それぞれの端子に8~16Ωのスピーカーを接続してください。

* 2台以上のスピーカーを接続する場合は、合成インピーダンスが4Ω以下にならないようしてください。

* スピーカーは許容入力100W以上のものをご利用ください。

* 誤った接続をしますと故障などの原因となります。

⑥ DIRECT OUT

本機の最終段であるパワーアンプ部を通った信号が-10dBで出力されます。ミキサーへのLINE送りや、パワーアンプとスピーカーによる増設ができます。

⑦ GND ON/OFF

規定出力レベル及び適合インピーダンスは、+4dB/600Ωです。本機では、1番：グランド(アース)、2番：ホット、3番：コールドの接続型式を採用しています。

⑧ BAL. OUTPUT LEVEL

BAL. OUTPUT端子のアースライン(1番：グランド)をON/OFFするスイッチです。通常はONで使用しますが、アースのループによりハム等が発生した時、このスイッチをOFFにすれば、これらが軽減することができます。

⑨ SEND OUTPUT/RETURN INPUT

パワーアンプ部の手前に設けられた-10dBの出力および入力端子です。RETURN INPUT端子にプラグを差し込むと、内部回路が切れ、RETURN INPUT端子に接続された信号が、パワーアンプ部に送られます。

両端子の間にエフェクターを挿入したり、SEND OUTPUT端子を単独に録音用出力端子として使用したり、また外部のプリアンプでプリコントロールした信号をRETURN INPUT端子に入力するなど、あらゆる使い方ができます。

⑩ SEND LEVEL

SEND OUTPUT端子への送り出しレベルをコントロールするツマミです。

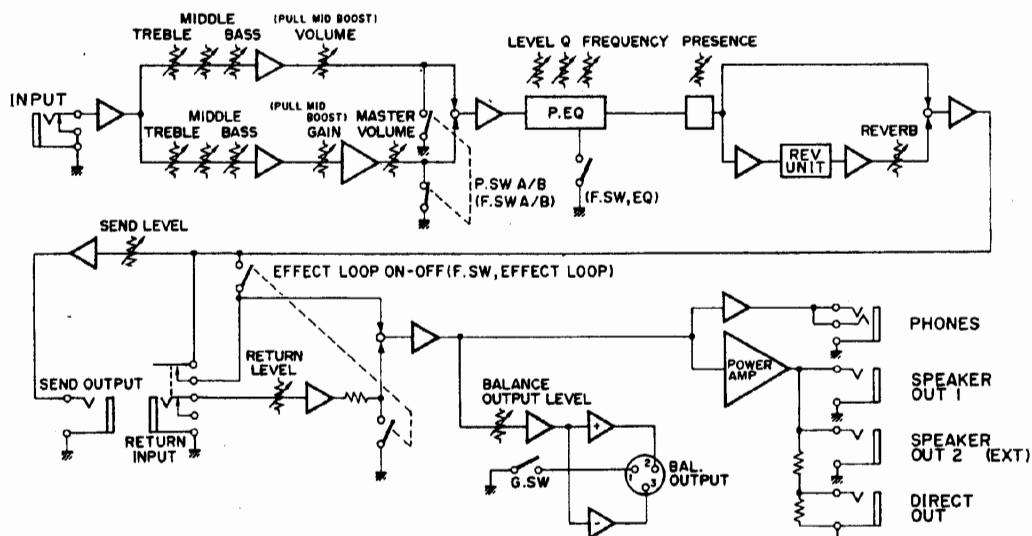
目盛7(3時)の位置で、規定出力レベル(-10dB)が得られます。

⑪ RETURN LEVEL

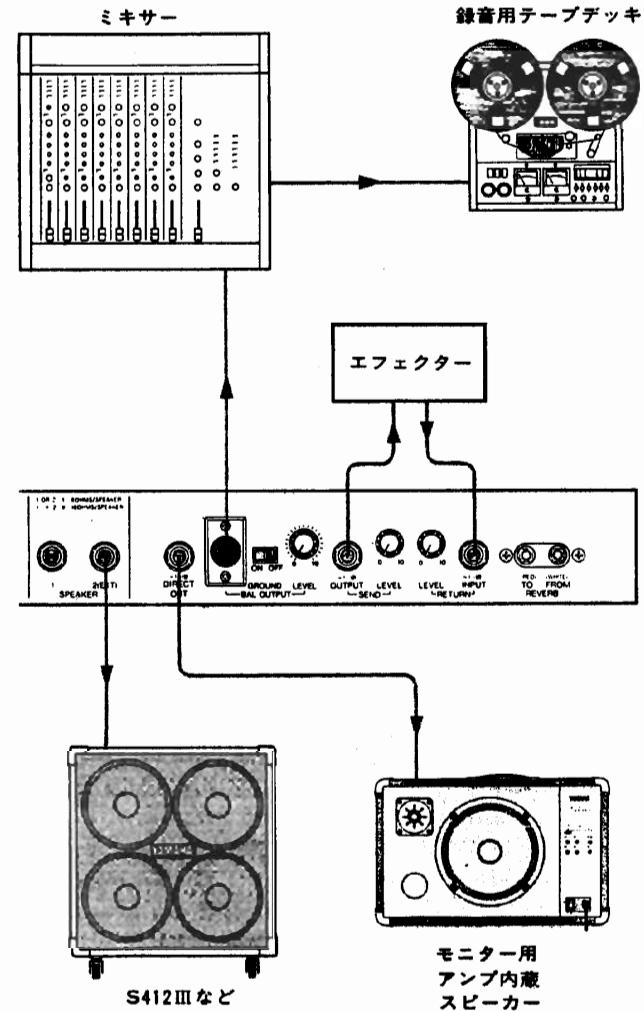
RETURN INPUT端子に外部周辺機器を接続した場合、このツマミで入力レベルをコントロールします。(結果的に、スピーカーの駆動レベルもコントロールされることになります。)

目盛7(3時)の位置で、規定入力レベル(-10dB)が得られます。

●ブロックダイアグラム



●接続例



B100Ⅲ Bass Amplifier Head

●特長

- プレーヤーの要求するサウンドを忠実に、100Wrmsのハイパワーで表現することができます。
- 入力部のトーンコントロールは、3バンドのアクティブイコライザーです。それぞれのバンドが独立しているため、他の帯域との干渉が殆どありません。
- 2組のパラメトリックイコライザーを内蔵しており、サウンドプログラムも自由自在です。
フットスイッチとの併用により、ライブパフォーマンスにおいて、特にその威力を發揮します。
- ダイレクトボックスを使わずに、直接PAミキサーや、スタジオミキシングコンソールへの接続を可能にするバランス型出力端子を装備しています。
- フィルターネットワークを内蔵しているため、マルチアンプシステムによるセットアップが容易です。
- PRE AMP OUTやPOWER AMP INなど、様々なサウンド創りを可能にする入出力端子が豊富です。

●ご注意

- 本機の電源電圧は国内仕様AC100V、50/60Hzです。
- 電源投入時やギターの接続時には、スピーカーの損傷を避けるため、VOLUMEを絞ってください。
- 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは充分に離してご使用ください。
- ヒューズ交換の際には必ず当社規定のものをご使用ください。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。また使用中の移動は避けてください。
- 湿気・結露・ほこりに充分注意して、安定した場所に設置してください。
また、高温となる場所でのご使用を避けてください。
- パネルをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することを避けてください。(変色等の原因となります。)お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきしてください。
- リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。

●仕様

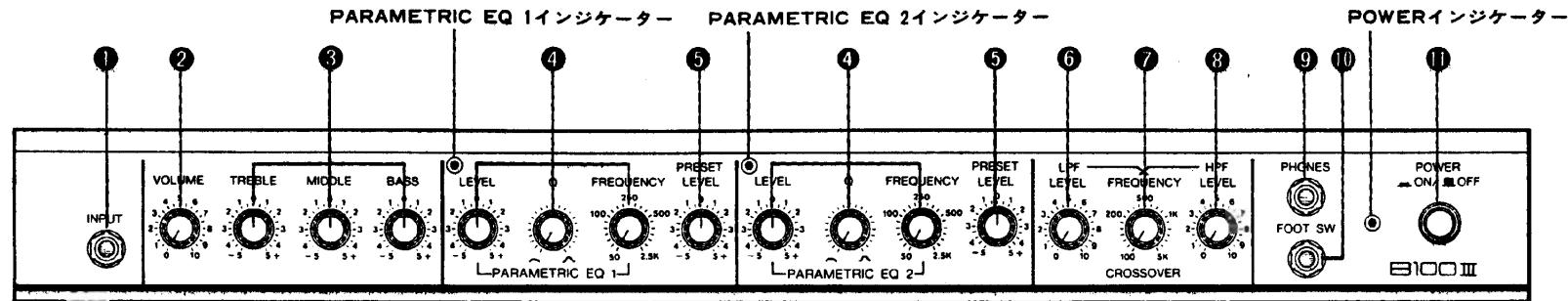
定格出力	100W (4 or 8 Ω, THD 10%)
入力感度/インピーダンス	
INPUT	-20dB (77.5mV)/1MΩ
POWER AMP IN	-10dB (245mV)/20kΩ
出力レベル	
SPEAKER OUT (8 Ω)	+31.2dB (28.1V)
PRE AMP OUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
HPF OUTPUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
LPF OUTPUT (10kΩ)	-10dB (245mV)
BAL OUTPUT (600Ω)	+4 dB (1.23V)
PHONES (8 Ω)	-11dB (218mV)
ゲイン	
INPUT → SPEAKER OUT	64dB
INPUT → PRE AMP OUT	20dB
INPUT → BAL OUTPUT	50dB
POWER AMP IN → SPEAKER OUT	41dB
ノイズ*	
all volumes → min.	-55dB
VOLUME, TREBLE, MIDDLE, BASS → max.	-45dB
パラメトリックイコライザー	
LEVEL	±15dB
Q	0.35~3.0
FREQUENCY	50Hz~2.5kHz
PRESET LEVEL	±10dB
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	90W
最大外形寸法 (W×H×D)	566×198×307mm
重量**	14.8kg
付属品	フットスイッチ ビニールカバー

* @ 12.7kHz, 6 dB/oct. フィルターで補正

● 0 dB = 0.775Vr.m.s.

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●コントロールパネル



① INPUT

ベースギターを接続します。

② VOLUME

音量をコントロールするツマミです。

③ TREBLE, MIDDLE, BASS

それぞれのツマミで、高域(7kHz基準)、中域(300Hz中心)、低域(70Hz基準)の各レベルをコントロールします。

各バンドを独立制御できるため、他の帯域への影響が殆どありません。

ツマミ位置センター"0"でフラット、時計方向 "+" に回すほどブースト、反時計方向 "-" に回すほどカット効果が得られます。

④ PARAMETRIC EQUALIZER

2組のパラメトリックイコライザーを装備しています。

両方を同時に使用して、2ポイントのピークやディップをもたせたり、それぞれを曲の進行にあわせて、切り替えて使用することができます。

EQ 1 および EQ 2 の ON/OFF は、付属のフットスイッチで行ない、ONされたイコライザーのインジケーターが点灯します。

またフットスイッチを使用しない(FOOT SW端子に接続しない)場合には、常にイコライザーがONの状態になります。

● LEVEL

FREQUENCYツマミで設定したイコライジングポイントを中心に、最大±15dBの範囲でブーストまたはカットします。

ツマミ位置センター"0"では、QおよびFREQUENCYツマミのセッティング状態に関係なく、フラットな特性となり、効果は表われません。

ツマミを時計方向 "+" に回すほどピーキング効果が強くなり、反時計方向に回すほどディッピング効果が強くなります。

● Q

イコライジングする周波数帯を広くとるか狭くとるかを決めるツマミです。

時計方向 "へ" に回すほどイコライジングする音域が狭くなり、反時計方向 "へ" に回すほど音域が広くなります。

B100III

● FREQUENCY

イコライジングする周波数の中心を決めるツマミです。
イコライジングポイントは、50Hz～2.5kHzの間で連続的に設定できます。

⑤ PRESET LEVEL

それぞれのパラメトリックイコライザー(P. EQ 1, P. EQ 2)に設けられたツマミで、各パラメトリックイコライザーをONにした時の出力レベルをコントロールします。
演奏を行なう前に、フットスイッチを切り替えて、ONにした時とOFFにした時の音量差を調節しておきます。

⑥ LPF LEVEL

LPF OUTPUT端子への送出レベルをコントロールするツマミです。
LPF OUTPUT端子へ送出される信号は、Crossover Frequencyツマミで設定された周波数以下の成分です。
目盛5(12時)の位置で、規定出力レベル(-10dB)が得られます。

⑦ CROSSOVER FREQUENCY

LPF出力とHPF出力のクロスオーバー周波数(カットオフ周波数)を設定するツマミです。設定範囲は、100Hz～5kHzです。
クロスオーバー周波数は、使用的スピーカーの特性に合わせてバランスをとってください。

⑧ HPF LEVEL

HPF OUTPUT端子への送出レベルをコントロールするツマミです。
HPF OUTPUT端子へ送出される信号は、Crossover Frequencyツマミで設定された周波数以上の成分です。
目盛5(12時)の位置で、規定出力レベル(-10dB)が得られます。

マルチアンプシステム

本機はフィルターネットワークを内蔵しており、出力信号を高音と低音に分け、ステレオパワーアンプのL・R、又はモノラルパワーアンプ2台に別々に信号を送り出し、最終的に2wayのスピーカーシステムを能率よくドライブさせることができます。
このようにして出来上がったシステムをマルチアンプシステムといいます。
なお、マルチアンプシステムを組まない(LPF OUTPUT, HPF OUTPUTに何も接続しない)場合には、LPF LEVEL, CROSSOVER FREQUENCY, HPF LEVELのツマミは使用しません。

⑨ PHONES

ローインピーダンスタイプのヘッドホンをご使用ください。
ヘッドホンを接続しても、接続したスピーカーから音が出ます。スピーカーの音を切りたいときは、リアパネルのSPEAKER端子に接続したスピーカーのプラグを抜いてください。

⑩ FOOT SW

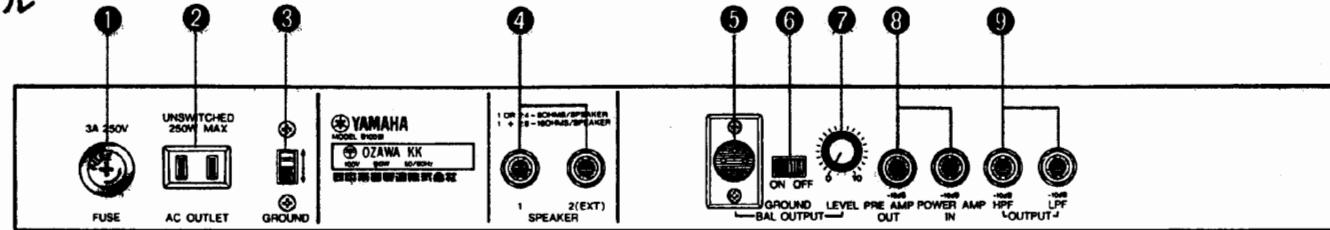
付属のフットスイッチを接続します。
フットスイッチを使用すると、演奏をしながら足元でパラメトリックイコライザーのON/OFFができます。
なおフットスイッチは、片足でEQ1とEQ2を同時に踏むことができるため、瞬時にEQ1とEQ2を切り替えることもできます。

*フットスイッチは必ず付属品をご使用ください。他のフットスイッチをご使用になりますと、故障の原因となります。充分ご注意ください。

⑪ POWER SW

電源スイッチです。

● リアパネル



① FUSE

ヒューズ交換の際には電源プラグをコンセントから引き抜いた後、当社規定のものと交換してください。

なおご使用中におけるヒューズの断線は、ご使用上のミスのほか故障などの原因によるものです。お買い上げ店もしくは最寄りのサービスステーションにご相談ください。

② AC OUTLET(UNSWITCHED)

非運動型コンセントです。消費電力250W以下の機器に使用できます。

③ GROUND SW

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。

ハム・雑音が大きい場合、このスイッチを切り替えれば、これらが軽減することがあります。

④ SPEAKER 1・2

SPEAKER端子1と2は内部で並列に接続されており、2台以上のスピーカーを接続可能です。

SPEAKER 1または2のどちらか片方を使用する場合には4~8Ωのスピーカー、SPEAKER 1と2の両方を使用する場合に

は、それぞれの端子に8~16Ωのスピーカーを接続してください。

※誤った接続をしますと故障などの原因となります。

※2台以上のスピーカーを接続する場合は、合成インピーダンスが4Ω以下にならないようにしてください。

※スピーカーは許容入力100W以上のものをご利用ください。

⑤ BAL. OUTPUT

PAミキサーラやレコーディングミキサーへ、ダイレクトに信号を送り出すための平衡型出力端子です。

規定出力レベル及び適合インピーダンスは、+4dB/600Ωです。本機では、1番：グランド(アース)、2番：ホット、3番：コールドの接続型式を採用しています。

⑥ GROUND ON/OFF

BAL. OUTPUT端子のアースライン(1番：グランド)をON/OFFするスイッチです。通常はONで使用しますが、アースのループによりハム等が発生した時、このスイッチをOFFにすれば、これらが軽減することができます。

⑦ BAL. OUTPUT LEVEL

BAL. OUTPUT端子への送り出しレベルを、コントロールするツマミです。目盛5(12時)の位置で、規定出力レベル(+4dB/600Ω)が得られます。

⑧ PRE AMP OUT/POWER AMP IN

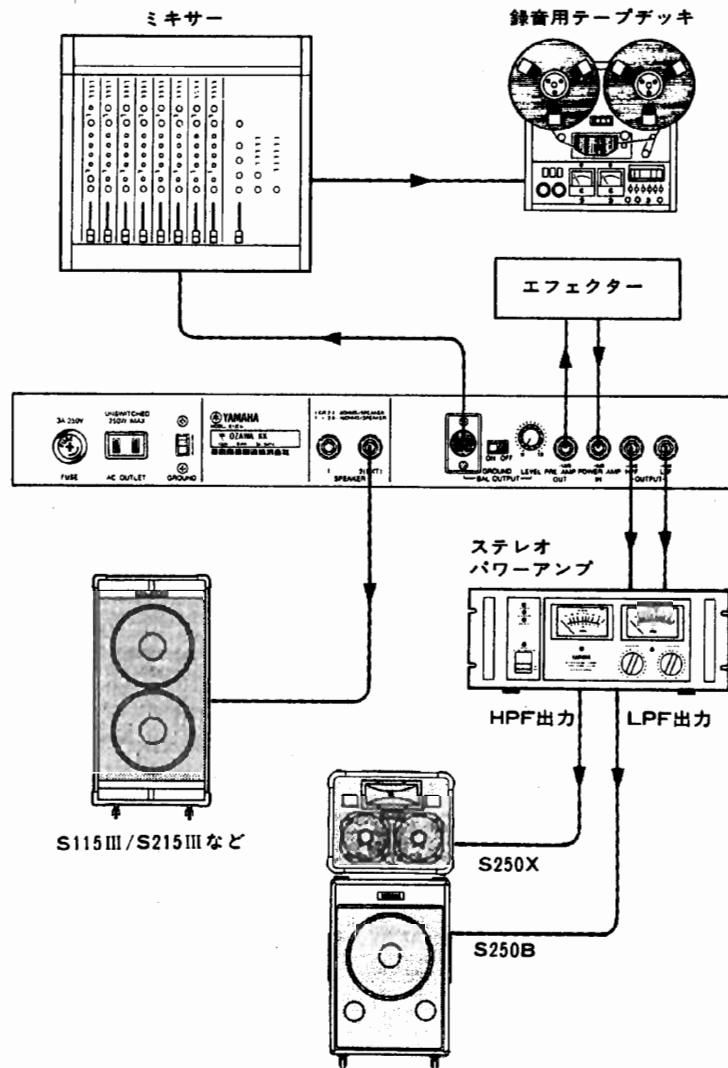
-10dBの出力及び入力端子です。POWER AMP IN端子にプラグを差し込むと、内部回路が切れ、POWER AMP IN端子に接続された信号が、後段へ送られます。両端子の間にエフェクターを挿入したり、外部のプリアンプでプリコントロールした信号をPOWER AMP IN端子に入力するなど、あらゆる使い方ができます。

⑨ HPF OUTPUT/LPF OUTPUT

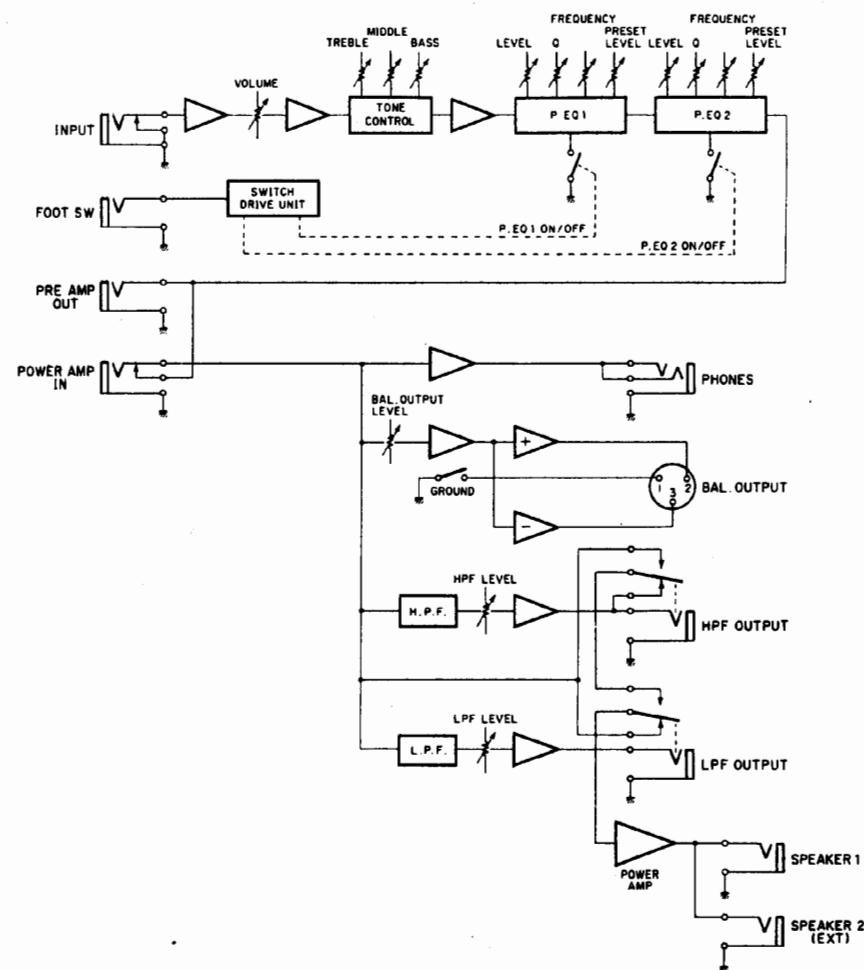
ステレオパワー・アンプ又はモノラル・パワー・アンプ2台を使用して、2wayスピーカーを効率よくドライブさせるための端子です。またLPF OUTPUT端子のみを使用すれば、外部機器に低音を受け持たせ、本機で高音のみをドライブさせることもできます。

B100III

●接続例



●ブロックダイアグラム



S115III/S215III/S412III Speaker Enclosure

●ご注意

- スピーカーの2段積みには充分ご注意ください。なお転倒防止のためキャスターは取りはずしてください。キャスターは強く引けばはずれ、強く押し込めばはまります。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。また使用中の移動は避けてください。
- 湿気、結露、ほこりに充分注意して、安定した場所に設置してください。
- セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することを避けてください。(変色等の原因となります。) お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきしてください。

●仕様

型 名	S 115III	S 215III	S 412III
使用スピーカー	JA3812(38cm)×1	JA3812(38cm)×2	JA3111(30cm)×4
許 容 入 力	120W	240W	240W
インピーダンス	8 Ω	4 Ω	8 Ω
寸法(W×H×D)*	565×655×387mm	565×1,160×441mm	710×770×387mm
重 量*	33.0kg	61.0kg	45.0kg
付 属 品	ビニールカバー、接続コード		

*キャスター含む

●スピーカー仕様

型 名	JA3812	JA3111
口 径	38cm(15")	30cm(12")
ボイスコイル口径	66φmm	52φmm
マ グ ネ ッ ト	フェライト・6.1kg	フェライト・2.6kg
再 生 周 波 数 帯 域	50Hz~5.5kHz	45Hz~7kHz
出力音圧レベル(1m/W)	98.5dB	96dB
許 容 入 力 (RMS)	120W	60W
公 称 インピーダンス	8 Ω	8 Ω
最 低 共 振 周 波 数	39Hz	58Hz

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

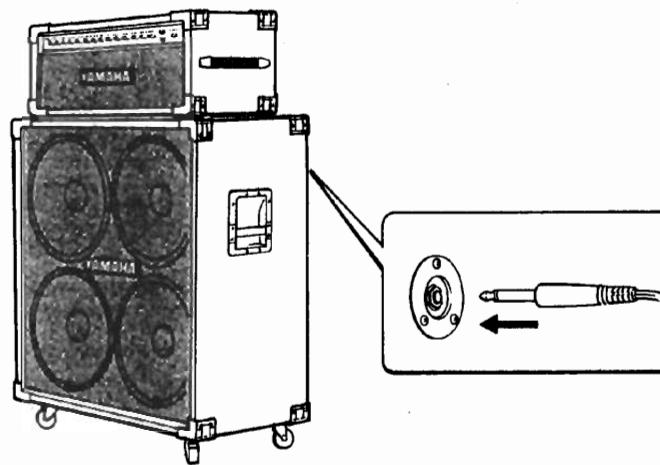
S115III/S215III/S412III

●接続

スピーカー背面のホーンジャック端子とアンプヘッドのスピーカー出力端子を接続コードで接続します。このときアンプヘッドの電源スイッチを“OFF”にするか、またはボリュームを絞ってください。

*S115III、S412IIIのインピーダンスは8Ω、
S215IIIのインピーダンスは4Ωです。1台の
アンプヘッドに2台以上のスピーカーを組み
合わせて使用する場合は、スピーカーの合成
インピーダンスがアンプヘッドの指定インピ
ーダンス内になるようにしてください。

*アンプヘッドは、出力がスピーカーの許容入
力を越えないものをお使いください。



●サービスのご依頼について

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL. 0534(65)1111
東京支店 〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢島ビル6F
TEL. 03(574)8592
銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL. 03(572)3131
渋谷店 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大京ビル内
TEL. 03(476)5441
池袋店 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL. 03(981)5271
横浜店 〒220 横浜市西区南幸2-15-13
TEL. 045(311)1201
大阪支店 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/
心斎橋プラザビル東館(8-9階)
TEL. 06(251)1111
心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL. 06(211)8333
梅田店 〒530 大阪市北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル
TEL. 06(345)4731
神戸店 〒650 神戸市中央区元町通2-7-3
TEL. 078(321)1191
高松店 〒760 高松市丸龜町8-7
TEL. 0878(51)7777
名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. 052(201)5141

名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. 052(201)5154
九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. 092(472)2151
福岡店 〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL. 092(721)7621
北海道支店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/
ヤマハセンター
TEL. 011(512)6113
札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/
ヤマハセンター
TEL. 011(512)6124
仙台支店 〒980 仙台市大町2-2-10
TEL. 0222(22)6141
仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL. 0222(27)8516
広島支店 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル内
TEL. 082(221)4122
広島店 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL. 082(248)4511
浜松支店 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL. 0534(54)4116
浜松店 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL. 0534(54)4325

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(お客様ご相談窓口・お預り修理窓口)
東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1-1184
TEL. (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8
(シルバーボールビル2F)
TEL. (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16
(千里丘センター内)
TEL. (06) 877-5262
四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸龜町8-7
(日本楽器高松店内)
TEL. (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
(日本楽器名古屋流通センター)
TEL. (052) 652-2230
九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. (092) 472-2134
広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3
TEL. (082) 874-3787
北海道電音サービスセンター 〒065 札幌市東区本町1条9-3
TEL. (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市鶴町5-7
(仙台卸商共同配送センター3F)
TEL. (0222) 36-0249
浜松電音サービスセンター 〒432 浜松市東伊場2-13-12
TEL. (0534) 56-9211

本社
営業技術課電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL. (0534) 65-1111

★住所及び電話番号は変更になる場合があります。



BWgY. g. GR